

StarSuite™ 7

新機能ガイド

目次

StarSuite 7 へようこそ	3
主な機能.....	3
StarSuite 7 新機能	4
相互運用性の強化.....	4
品質と操作性の向上.....	7
アクセシビリティ機能.....	10
アジア言語対応機能.....	12
国際化対応機能.....	14
システム管理機能.....	16
開発者向け機能.....	17
システム要件.....	19
Microsoft Windows.....	19
Linux.....	19
Solaris オペレーティングシステム.....	19

StarSuite 7 へようこそ

このドキュメントでは、StarSuite 7 ソフトウェアに導入された新機能や改善された機能の概要を紹介します。サン・マイクロシステムズのオフィス生産性向上アプリケーションの完全なスイートのこの新バージョンは、より多くの価値、より多くのクロスプラットフォーム機能、より多くの選択と相互運用性を提供します。

世界中のユーザが、新しい国際化言語機能や編集ツールから利益を得られるでしょう。StarSuite 7 は、PDF、Macromedia Flash、Internet Explorer、XML など多くの相互運用機能を搭載しています。身体に障害のあるユーザに対するアクセシビリティや障害者支援技術をサポートします。StarSuite 7 では Microsoft Office 相互運用性が強化され、企業ユーザに対しては、中央管理マネージャ、StarSuite ソフトウェア開発キットが提供されます。

主な機能

StarSuite 7 ソフトウェアには主に以下の機能が含まれます。


- Microsoft Office 相互運用性の強化により、Microsoft Office ユーザとのドキュメント交換を促進
- PDF、Macromedia Flash、XML、PlaceWare 形式などへの新フィルタを含む、相互運用性の向上
- アクセシビリティ機能や、ユーザ補助技術をサポートする Java API により、ハンディキャップをお持ちの方々が StarSuite の全機能を使用可能
- 縦書きサポートによる有用性の向上
- ヘブライ語、ヒンディー語、アラビア語などの複雑な言語の編集機能
- 新しいアイコンセット、オンラインヘルプの向上、プリンタ非依存のレイアウトなどを含む使い安さの改善
- キーボードマクロの記録やデータベースのレポート生成など、生産性の向上
- 安定性とパフォーマンスの向上
- StarSuite ソフトウェア開発キットにより、カスタマイズや自動化が可能で、既存のアプリケーションと StarSuite や OpenOffice.org との統合が可能

StarSuite 7 新機能

相互運用性の強化

機能	利点	利用方法 ¹
MS Office 互換性 機能強化!	MS Office のテキスト文書、表計算、プレゼンテーションとの互換性が向上しました。 <ul style="list-style-type: none">• テキスト文書の書式とレイアウト• テキスト枠とレイアウトの書式• 図形オブジェクト• グラフ• WordArt オブジェクト• 表計算内のデータ確認• 縦書きテキスト	<ul style="list-style-type: none">• ファイル→開くで MS Office ドキュメントを開きます。• MS Office ドキュメントをファイル→名前を付けて保存から適切なファイルの種類を選んで保存します。• MS Office 互換性に関するより詳細な調整についてはツール→オプション→読み込みと保存→MS Office を選んでください。
MS Excel 95 フォームコントロールのサポート NEW!	MS Office 95 フォームコントロール（押しボタン、チェックボックス、オプションボタン、ラベル、リストボックス、コンボボックス、グループボックスなど）をサポートします。	<ul style="list-style-type: none">• ファイル→開くで MS Excel のドキュメントを開きます。
新しい入力リストフィールド NEW!	テキスト文書内にドロップダウンのリストボックスが含まれる MS Word 文書のインポートを改善するために「入力項目」フィールドをサポートし、入力フィールドのリスト項目をダイアログから選択できるようになりました。	<ul style="list-style-type: none">• 挿入→フィールド→その他からフィールドダイアログを表示すると、機能タブに入力項目という新規項目が追加されています。• ダイアログ内のすべての入力フィールドは、新規作成時には空になっています。
プリンタ非依存レイアウト NEW!	プリンタを変更したり、他のプリンタがインストールされたマシンでドキュメントを開いた時にドキュメントのレイアウトを保存する。StarSuite 7 では、プリンタの情報ではなく、画面表示用のフォント書式情報を使用するようになりました。 これにより、MS Office との互換性も向上します。	<ul style="list-style-type: none">• ツール→オプション→文書ドキュメント→全般→互換性で設定します。

¹ 「利用方法」で紹介している手順は大まかな手順です。詳細な利用手順については、StarSuite アプリケーションに搭載されているオンラインヘルプを参照してください。

機能	利点	利用方法
PDF 形式へのエクスポート NEW!	Adobe Acrobat 製品がインストールされていなくても、ワープロ文書、表計算、プレゼンテーションを PDF (Portable Document Format) 形式で保存・送信できます。PDF ファイルはサイズが小さく、読み取り専用文書の共有に広く利用されている形式です。	<ul style="list-style-type: none"> 直接 PDF にエクスポート:ファンクションバーに追加された新しい PDF アイコンをクリック。 ファイル→PDF としてエクスポートを選ぶと、固有の設定を指定できます。フォルダ、ファイル名を指定し、PDF オプションダイアログボックスでページ範囲、イメージ品質を選びます。 ファイル→送る→PDF 添付としてのドキュメントでは PDF を E-mail に添付できます。
プレゼンテーションと図形描画を Macromedia Flash にエクスポート NEW!	Web ブラウザにマルチメディアプレゼンテーションをもらたします。 OpenOffice.org コミュニティの貢献により、StarSuite では StarSuite Impress プレゼンテーションおよび StarSuite Draw 図形描画を Macromedia Flash 形式 (.swf) にエクスポートできます。	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションまたは図形描画でファイル→エクスポートを選び、保存する場所を選択します。 Flash ファイルを参照するには、Macromedia version 4 がインストールされている必要があります。 複数のページやすべての描画形状をサポートします。
Internet Explorer での StarSuite 文書参照 NEW!	Windows 版では、ActiveX コントロールを使用し、StarSuite 文書や MS Office 文書を Internet Explorer ウィンドウ内に表示できます。文書を編集する場合は、StarSuite の新規ウィンドウが開きます。	<ul style="list-style-type: none"> Internet Explorer が標準ブラウザとして設定されている場合のみ利用できます。
XML フィルタ NEW!	あらゆる XML 形式のインポートおよびエクスポートが可能になりました。サンプルとして、XHTML、基本的な DocBook 変換、MS Word 2003 XML フィルタの 3 種類の XSLT 変換が含まれています。 MS Word 2003 フィルタでは、フォント、段落スタイル、文字スタイル、基本的な表、リスト、ページ設定をサポートします。	<ul style="list-style-type: none"> XSLT サンプルフィルタはデフォルトではインストールされません。カスタムインストールで選択する必要があります。 フィルタダイアログはツール→XML フィルタ設定にあります。設定したフィルタはファイル→開くやファイル→保存ダイアログから利用できるようになります。
Web 会議向けプレゼンテーションのエクスポート NEW!	Web 会議向けに StarSuite プレゼンテーションファイルを同僚と共有します。	<ul style="list-style-type: none"> ファイル→エクスポートを選び、ファイル書式から PlaceWare 形式 (*.pwp) を選択することで、プレゼンテーションを PlaceWare に簡単にエクスポートできます。
MySQL との接続 NEW!	容易に MySQL データベースに接続し、データを抽出・管理・分析します。	<ul style="list-style-type: none"> ツール→データソースを選び、データベースの種類として MySQL を選択します。

機能	利点	利用方法
<p>Web ページコピー機能の強化 NEW!</p>	<p>StarSuite Writer と Web ページ間での透過的なコピー & ペーストをします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> StarSuite Writer に Web ページからデータを挿入する場合、デフォルトでは HTML テキストのコメントはコピーされません。 クリップボード形式に新しく「HTML 書式(コメントなし)」が追加され、「HTML 形式」よりも優先されます。以前と同じ動作にするには、編集→形式を選択して貼り付け、または貼り付けボタンのメニューから利用できます。
<p>MS Office ファイルおよび HTML ファイルを StarSuite に関連付け 機能強化!</p>	<p>MS Office の Word、Excel、PowerPoint ファイルや HTML ファイルを開くとき、StarSuite ソフトウェアを自動的に使用します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> StarSuite のインストール時にファイルの種類を StarSuite ファイルとして登録してください。 インストール時、標準インストールまたはユーザー操作のインストールでのパス選択後、ファイルの種類を登録する画面が表示されます。MS Office の Word、Excel、PowerPoint ファイルや HTML ファイルを StarSuite に関連付けてください。 注:ファイルの種類が登録されない場合、登録ダイアログ内でデフォルトでチェックされている項目だけが関連付けされます。ファイルの種類がすでに登録されている場合、StarSuite として登録するには手動で変更する必要があります。

品質と操作性の向上

機能	利点	利用方法
マクロの記録 NEW!	繰り返しの作業を自動化し、マクロをすばやく実行するためにショートカットキーを割り当てます。	<ul style="list-style-type: none"> ツール→マクロ→マクロの記録を選んで記録処理を開始します。記録ボタンを押すと「記録の終了」という小ウィンドウが現れ、記録が表示されます。この小ウィンドウが現れると、記録処理が開始されます。 その後キーボードやマウスを使用し、記録したいデータを入力したり、作業を実施してください。 「記録の終了」をクリックし、記録を完了してください。 記録処理を終了するとマクロダイアログが表示されるので、マクロを保存してください。 マクロダイアログでショートカットキーを割り当てる場合は、割り当て→キーボードを選択し、作成したマクロ用のショートカットキーを選択します。
ドキュメントを閉じる 機能拡張!	ユーザが最後のドキュメントを閉じた場合でも、アプリケーションは実行したままになります。	<ul style="list-style-type: none"> ドキュメントを閉じるにはファイル→閉じるを選びます。または、ドキュメントウィンドウの右上にあるx印をクリックします。 アプリケーションを終了するにはファイル→終了を選びます。
ドキュメント作業エリアの拡大 NEW!	StarSuite のスタイリストやナビゲータなどのナビゲーションツールをドキュメントウィンドウの外に移動することで、ワープロ、表計算、プレゼンテーション、図形描画などのドキュメントを編集する領域が広がります。	<ul style="list-style-type: none"> ナビゲータやスタイリストが開いているときに、マウスを使ってダイアログボックスをドキュメントウィンドウの外に移動してください。
ヘッダとフッタ内の図形描画オブジェクト NEW!	ページヘッダやページフッタに図形描画オブジェクトを含められるようになりました。このオブジェクトはページ上に配置されます。	<ul style="list-style-type: none"> ページヘッダ、ページフッタに図形を描画します。
範囲のインデント NEW!	MS Office インポート機能を強化するために、StarSuite の範囲内で左右にインデントを指定できます。	<ul style="list-style-type: none"> 範囲の挿入ダイアログで、インデントタブを選んでください。
新 Adabas D データベースエンジン 機能強化!	Software AG 社が Adabas D 11 の製品終了を発表したため、StarSuite は新しい Adabas D 12 エンジンと同梱しました。	<ul style="list-style-type: none"> StarSuite インストールが終了すると Adabas D セットアップが開始されます。

機能	利点	利用方法
データベース・レポート・オートパイロット NEW!	データベース・レポート・オートパイロットにより、ユーザは容易にデータベースからレポートを作成できます。レポートは StarSuite Writer 形式で作成されます。 オートパイロットはデータベースのソース、フィールド、レイアウトから内容を指定するプロセスを導きます。 レポートを作成するプロセスを簡単にするには、新しいエレガントなテンプレートを使用します。 レポート1回のみ作成するか、レポートの実行毎に新しいデータを更新するかによって、レポートをスタティックなレポートまたはダイナミックなレポートとして指定してください。	<ul style="list-style-type: none"> インストール時に Java™ 実行環境をインストールする必要があります。 ファイル→オートパイロット→レポートを選択してください。オートパイロットに従い、レポートの内容やデザインを指定してください。
ヘルプとドキュメントの改善 機能強化!	オンラインヘルプ、ユーザーガイド、インストールの手引きが大幅に改良され、読みやすさとわかりやすさが改善されました。	<ul style="list-style-type: none"> オンラインヘルプにアクセスするにはヘルプ→目次を選んでください。
サポートへの簡単アクセス NEW!	ユーザは製品サポートに容易にアクセスできます。	<ul style="list-style-type: none"> ヘルプ→サポートを選んでください。
ドキュメントの修復 NEW!	自動的にファイル破損を検出し、データを修復します。	<ul style="list-style-type: none"> StarSuite XML ファイルを開くときに破損が検出されると、StarSuite は修復処理を行います。 StarSuite はできる限り多くの情報を取り出すように試み、ドキュメントを読み取り専用で開きます。
StarSuite -help コマンドラインパラメータ	StarSuite 機能をコマンドラインで実行する場合に便利です。利用できるパラメータを説明するヘルプページが参照できるようになりました。	<ul style="list-style-type: none"> コマンドラインパラメータとして -help、-h、-? のいずれかを入力すると、利用できるパラメータの説明が表示されます。 Windows ユーザの場合、ヘルプはダイアログボックス内に表示されます。 UNIX® ユーザの場合、ヘルプはコンソールに表示されます。

機能	利点	利用方法
コンテキストメニューからのプレゼンテーション開始 NEW!	StarSuite Impress では、Windows または GNOME 上で選択した Impress ファイルのコンテキストメニューにある「表示」を選ぶだけでプレゼンテーションを開始できるようになりました。プレゼンテーションは直接スライドショーモードで開かれ、デフォルトでは1ページ目から開始されます。スライド範囲の指定や、目的別プレゼンテーションなど、プレゼンテーションに特別な設定がされている場合は、それが保持されます。	<ul style="list-style-type: none"> ドキュメントが読み込まれた後に自動的にプレゼンテーションを開始するには、コマンドラインパラメータとして -show を指定してください。プレゼンテーションが終了すると、StarSuite は編集モードになります。 ESC キーでプレゼンテーションを終了します。B キーで画面が黒くなり、W キーで画面が白くなります。
現在のページからプレゼンテーションを開始 NEW!	StarSuite Impress の以前のバージョンでは、デフォルトでは常に1ページ目からプレゼンテーションを開始していましたが、現在のページからプレゼンテーションが開始されるようになりました。	<ul style="list-style-type: none"> ツール→オプション→プレゼンテーション→全般にある「プレゼンテーションの開始」の「常に現在のページ」オプションがデフォルトで有効になっています。
アイコンの更新 NEW!	アプリケーションやファイルを表す星型のアイコンを含む、 StarSuite の新しいスタイルを満喫できます。	<ul style="list-style-type: none"> StarSuite アプリケーションアイコンは製品名を象徴する星型のアイコンに置き換えられました。
セットアップおよび起動画面の更新 NEW!	起動画面に進捗バーが表示され、 StarSuite セットアップ中に作成された進捗を表示するようになりました。	<ul style="list-style-type: none"> 特別な操作は不要です。
文書ドキュメントと表計算のプレビューの簡易ズーム操作 機能強化!	文書ドキュメントや表計算の印刷プレビューでパーセント指定でズームできるようになり、ページ全体よりも大きいサイズで表示できます。	<ul style="list-style-type: none"> Writer または Calc ファイルでファイル→印刷プレビューを選んでください。希望のズームレベルを指定するか、新しい+または-虫めがねアイコンをクリックしてズームレベルを増減してください。
表セル書式の改善 機能強化!	表セルのレイアウトや書式ツールが改善され、セルのレイアウト制御が増え、特にセルの分割が強化されました。	<ul style="list-style-type: none"> 表セルを選択し、書式→セル→分割→均等割付が選べます。

アクセシビリティ機能

機能	利点	利用方法
キーボードによる完全なナビゲーションとコントロール 機能強化!	マウスやその他のポインティングデバイスを使用しないで、キーボードでほぼすべての入力を行うことができます。	<ul style="list-style-type: none"> キーボードショートカットの全一覧を見るには、F1 キー（またはヘルプ→目次）で参照してください。
アクセスしやすいドキュメント 機能強化!	ユーザドキュメント（README、ユーザーズガイド、インストールの手引き）は PDF 形式に加えて HTML 形式でも提供されているので、スクリーンリーダーや画面拡大表示ソフトウェアでドキュメントを読むことができます。	<ul style="list-style-type: none"> HTML 形式の README ファイルは StarSuite CD にあります。インストール後には StarSuite をインストールしたディレクトリにあります。 ユーザーズガイド、インストールの手引き、Configuration Manager Guide は StarSuite CD の documentation フォルダにあります。
アクセスしやすいオンラインヘルプ NEW!	オンラインヘルプでは StarSuite のほぼすべてのアクセシビリティ機能の使い方についての情報を提供します。オンラインヘルプ自体もアクセスしやすいため、画面拡大表示ソフトウェア、スクリーンリーダー、オンスクリーンキーボードを使用してアクセスできます。	<ul style="list-style-type: none"> オンラインヘルプにアクセスする際に画面拡大表示ソフトウェア、スクリーンリーダー、オンスクリーンキーボードを使用できます。
点滅しないテキスト選択カーソル NEW!	キーボードでデータにアクセスしているユーザは、点滅しないテキストカーソルによりキーボードを使用してカーソルをつかむことができます。	<ul style="list-style-type: none"> 読み取り専用ドキュメントやオンラインヘルプウィンドウでカーソルを表示するには、ドキュメントで編集→テキストの選択（または Ctrl+Shift+I）を選ぶか、ツール→オプション→StarSuite→アクセシビリティでデフォルト動作を選んでください。
システムカラー設定の使用 機能強化!	StarSuite ではオペレーティングシステムの配色設定やコントラスト設定を採用します。この機能は、配色やコントラスト設定を高コントラストに変更している場合など、特に視力に障害のあるユーザに役立ちます。	<ul style="list-style-type: none"> ツール→オプション→StarSuite→アクセシビリティを選び、システムカラー設定を変更してください。
システムフォント設定とシステムカラー設定の使用 機能強化!	StarSuite 7 では、テキスト、表、セル、段落、ページ、フレームなど、オペレーティングシステムのフォント設定とカラー設定を受け継ぐことができます。	<ul style="list-style-type: none"> ツール→オプション→StarSuite→アクセシビリティを選び、システムカラー設定を変更してください。

機能	利点	利用方法
グラフィックスの抑制オプション NEW!	入出力にキーボード以外のデバイスを容易に使用できるようにするため、文書ドキュメント内のテキストやグラフィックスのアニメーションを行わないようにするオプションが利用できます。	<ul style="list-style-type: none"> • ツール→オプション→StarSuite→アクセシビリティを選び、「アニメーション画像を許可する」および「アニメーションテキストを許可する」をクリックしてください。
障害者支援技術のサポート NEW!	<p>身体に障害のあるユーザは、StarSuiteを代替入力装置で使用し、ほぼすべての機能にアクセスすることができます。アクセシビリティ機能を有効にするにはJava 1.4.0_2または1.4.1_1 (Java 1.4.1の場合はJava Access Bridge 1.0.3が必要)が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 画面拡大表示ソフトウェアを使用すると、視力の弱いユーザはキャレットやフォーカスのトラックのサポートによりStarSuiteを使用することができます。 • オンスクリーンキーボードを使用すると、キーボードを使用しないでマウスやその他の代替入力装置でほぼすべてのデータ入力やコマンドを実行できます。 • スクリーンリーダを使用すると、目の見えないユーザは、テキストから音声への変換や、点字ディスプレイのサポートによりStarSuiteを使用することができます。 	<ul style="list-style-type: none"> • StarSuite 7で動作する以下の障害者支援技術のインストール手順に従ってください。 • JAWs Screen Reader (version4.5以上) (Windows版) • Zoom Text Screen Magnifier (version7.11以上) (Windows版) • Gnopernicus Screen Reader と Magnifier (Linux版、Solaris版) • GNOME On Screen Keyboard (GOK) (Linux版、Solaris版)

アジア言語対応機能

機能	利点	利用方法
<p>ワープロ文書の縦書き 機能強化!</p>	<p>ワープロ文書ではフレーム、テキスト表、図形オブジェクト、その他テキストを含むオブジェクトなどを縦書き書式で作成できます。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ツール→オプション→言語設定→言語でアジア言語サポート機能が有効になっていることを確認してください。 テキストボックス、フレーム、ページ、その他テキストオブジェクトの中にテキスト文書を挿入します。 対象オブジェクトの書式オプション(書式→ページ→ページなど)からレイアウトを縦書きに変更します。 日本語に関する追加の段落設定は、書式→段落→日本語文の体裁を選択します。 「2行使い」は書式→文字→日本語レイアウトで選択できます。
<p>表計算での縦書き機能強化!</p>	<p>表計算のシート上で縦書きテキストが作成できます。縦書きテキストか横書きテキストかをユーザーはセルごとに設定できます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ツール→オプション→言語設定→言語でアジア言語サポート機能が有効になっていることを確認してください。 表計算のセルにテキストを挿入します。 書式→セル→配置を選択し、レイアウトを縦書きに変更します。
<p>グリッド線レイアウト機能</p>	<p>グリッド線レイアウト機能によってアジア文字で入力された縦書き、横書き文書をきれいに調整することができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ツール→オプション→言語設定→言語でアジア言語サポート機能が有効になっていることを確認してください。 書式→ページ→行数と文字数を選択します。
<p>StarSuite Calc が全角数字を自動計算 NEW!</p>	<p>StarSuite Calc は自動的に全角アラビア数字を認識して ASCII に変換し、数字として認識して計算できるようにします。そのため Excel と同様、表計算での数値入力のたびにインプット・メソッド・エンジン(IME)を切り替えることはありません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> アジア言語対応 IME を利用する場合は、ユーザは入力方法を直接入力に切り替えることなく、セルに直接数字を入力できます。 セルに全角アラビア数字を入力することができます。
<p>韓国語ハングル文字対応アイコン NEW!</p>	<p>韓国言語に対応するわかりやすいアイコンが搭載されています。たとえば、文字を使用した書式アイコンは適切なハングル文字に変換されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文書ウインドウに韓国語対応アイコンが表示されます。 StarSuite ソフトウェア韓国版のみ利用できます。

機能	利点	利用方法
ハングル⇔ハン ジャ変換 NEW!	新しい変換ツールにより、手動あるいは自動的にハングル語からハンジャ、ハンジャからハングル語へ変換します。	<ul style="list-style-type: none"> StarSuite Writer 韓国語版のみ利用できます。
韓国語スペル チェッカ NEW!	韓国語テキストをスペルチェックすることができます。	<ul style="list-style-type: none"> StarSuite Writer 韓国語版のみ利用できます。
新しい韓国語フォ ント NEW!	韓国語版 StarSuite には新たに 10 種の MS 互換フォントが含まれています。完全な Unicode フォントは「sunbatang」と「sundotum (sungulim)」です。	<ul style="list-style-type: none"> 韓国語版では、このフォントは西洋文字テキストのデフォルトとしても使用されています。

国際化対応機能

機能	利点	利用方法
文書ウィンドウでの双方向入力 NEW!	ヘブライ語やアラビア語のように右から左に書くテキストレイアウトで文書やテキストオブジェクトを作成できます。	<ul style="list-style-type: none"> デフォルトでは、テキスト方向は前の段落から受け継がれます。 テキストのレイアウトを右から左に変更する場合は、テキストオブジェクトの基本レイアウトを変更し、段落、フレーム、ページ、その他テキストオブジェクトを変更します。例： <ul style="list-style-type: none"> ページ全体の場合は、書式→ページ→ページ→文字方向を選択します。 段落内の場合は、書式→段落→配置→属性→文字方向を選択します。 デフォルトではテキスト方向は基本的にロケール設定に基づきます。ロケール設定を変更するには、ツール→オプション→言語設定→言語→言語設定を選択します。
ユーザーインターフェイスでの右から左のテキストおよびオブジェクト NEW!	アラビア語やヘブライ語のように右から左に書く言語のユーザの場合、StarSuite ソフトウェアでは、表示、コントロール、ボタンなどのユーザーインターフェイスを右から左へと設定することができます。	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーインターフェイスを右から左に変更するには、言語設定を変更する必要があります。
複雑なテキストレイアウト NEW!	StarSuite ソフトウェアは複雑なテキストを正確に表示することが可能です。これはタイ語文書にあるように密集または繋がった文字のサポートを含みます。ヒンディー語文書で一般的なインプット・メソッドに基づく文字の並び替えや、アラビア語などの連結文字もサポートします。	<ul style="list-style-type: none"> ツール→オプション→言語設定で複合文字言語(CTL)のサポートを有効にします。 ヒンディー語、タイ語など複雑なテキストの表示に対応したフォントをインストールする必要があります。 言語によっては、データ入力の並び替えをするために、適切なIMEをインストールする必要があります。
テキストカーソル方向表示 NEW!	双方向テキスト内でのカーソル移動や位置の特定がしやすいように、テキストカーソルは現在の方向を示す表示フラグを表示します。	<ul style="list-style-type: none"> 方向表示フラグは双方向入力時のみ表示されます。

機能	利点	利用方法
右から左へのカーソル移動 NEW!	右から左へ入力する場合、文書カーソルは論理的・視覚的に右から左へ移動します。	<ul style="list-style-type: none"> ツール→オプション→言語設定で複合文字言語(CTL)のサポートを有効にします。 ツール→オプション→言語設定→言語→複合文字言語→カーソル制御でカーソルの移動動作を設定します。
右から左、左から右の書式動作 NEW!	StarSuite Writer は前の段落からテキスト方向を引き継ぐようになりました。	<ul style="list-style-type: none"> 特別な操作は不要です。
テキスト方向のデフォルト動作 NEW!	テキスト方向のデフォルトは StarSuite のロケール設定に依存します。 たとえば、ロケールがアラビア語の場合、すべての StarSuite アプリケーションで、新規ドキュメント作成時のデフォルトのテキスト方向は右から左になります。	<ul style="list-style-type: none"> 特別な操作は不要です。
国際的なフィールド数値書式 NEW!	言語特有の数字の書式をフレキシブルに挿入できます。複数言語のドキュメントを作成する場合に便利です。たとえば、韓国語の日付を英語ドキュメントに挿入できます。	<ul style="list-style-type: none"> 挿入→フィールド→その他→書式→その他の書式...→言語を選びます。
ヒンディー語とアラビア語のテキストおよび数値の混在 NEW!	ヒンディー語やアラビア語の作成時、ユーザはヒンディー語やアラビア語の数値表記に基づいて数値のスタイルを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ツール→オプション→言語設定で複合文字言語(CTL)のサポートを有効にします。 数値表記を変更するには、ツール→オプション→言語設定→言語→複合文字言語→一般オプションを選びます。

システム管理機能

機能	利点	利用方法
<p>中央管理ツール NEW!</p>	<p>エンタープライズ向けの構成および管理ツールを提供し、システム管理タスクを容易にします。</p> <p>主な機能は、</p> <ul style="list-style-type: none"> • LDAP サーバを使用してユーザのプロファイルデータにアクセスおよび保存し、セキュリティと認証機能を可能にします。 • エンタープライズ LDAP サーバ上ではローミングプロファイルの設定、表示、修正を可能です。 • シングル・サインオン機能。 • 使いやすいユーザーインターフェイスの管理ツール。 	<ul style="list-style-type: none"> • StarSuite Configuration Manager は、StarSuite7 ソフトウェアとは別のオプションモジュールとして、Enterprise CD でのみ利用できません。 • StarSuite ソフトウェア CD のプラットフォーム/Admin/SCM フォルダにある README ファイルを参照し、Configuration Manager ツールをインストールしてください。 • システム要件(README 参照) <ul style="list-style-type: none"> • Sun ONE Directory Server 4.x、5.x • アプリケーションサーバ：サポートされているアプリケーションサーバは Sun ONE Application Server 6.5 と Tomcat 4.0.4 です。システムにアプリケーションサーバがない場合には Tomcat 4.0.4 をインストールしてください。 • Solaris オペレーティング環境および Linux では MIT Kerberos 1.2.5 以降が利用可能です。 • StarSuite 7 では Microsoft Active Directory をサポートしています。

開発者向け機能

機能	利点	利用方法
<p>ソフトウェア開発キット NEW!</p>	<p>StarSuite および OpenOffice.org のカスタマイズ、自動化、拡張や、既存のアプリケーションやシステムとの統合が可能です。</p> <p>ソフトウェア開発キット(SDK)は、必要なツールすべてと、StarSuite API のプログラミングに関するドキュメントを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Developer's Guide には以下が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • API コンセプトと詳しい解説 • UNO コンポーネントモデルと異なるアプリケーション領域のコンテキストでの API 利用方法 • たくさんの再利用可能な API のデモ使用例。Java、C++、Basic、OLE のコーディング例 • Developer's Guide は PDF 形式と HTML 形式で参照できます。PDF 形式は読みやすくオフライン印刷が可能です。HTML 形式は参照実装への相互参照を含んでいます。 • Deployment ツールは、既存の StarSuite ソフトウェアに対する新しい拡張機能のインストールを簡素化します。 • サードパーティ製アドオンのための新しいインターフェイスにより、開発者はツールメニューやサブメニュー、あるいはファンクションバーのアイコンからカスタマイズされたサービスにリンクできます。 	<ul style="list-style-type: none"> • SDK は StarSuite Enterprise CD でのみ利用可能です。

機能	利点	利用方法
<p>障害者支援技術向け開発用アプリケーション・プログラミング・インタフェース(API)</p> <p>NEW!</p>	<p>画面拡大表示ソフトウェアなどの障害者支援技術は、他のツール同様 Java Accessibility API を利用して StarSuite7 ソフトウェアに接続します。</p> <p>Java Accessibility API は以下の一般的な障害者支援技術をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • JAWs Screen Reader (version4.5 以上) (Windows 版) • Zoom Text Screen Magnifier (version7.11 以上) (Windows 版) • Gnopernicus Screen Reader と Magnifier (Linux 版、Solaris 版) • GNOME On Screen Keyboard (GOK) (Linux 版、Solaris 版) <p>Java accessibility API は技術の統合に加え、ドキュメントを提供できるという利点があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Java Accessibility API はシステムに統合されています。
<p>OLE の拡張</p> <p>NEW!</p>	<p>StarSuite Windows 版では、OLE の編集をサポートします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 特別な操作は不要です。

システム要件

Microsoft Windows

- 日本語 Microsoft Windows 98、Me、NT (Service Pack 6 以上)、2000 (Service Pack 2 以上)、XP (Microsoft Windows 2000 または XP 推奨)
- Pentium(互換)コンピュータ、メモリ 64MB、ハードディスク空き容量 300MB
- Java Runtime Environment 1.4.1 以上
- Java Access Bridge 1.0.3 (アクセシビリティ機能を使用する場合)
<http://www.sun.com/access/downloads/>
- 画面解像度 800x600、256 色以上

Linux

- Linux Kernel 2.2.13 以上、glibc2 2.2.0 以上
- Pentium(互換)コンピュータ、メモリ 128MB、ハードディスク空き容量 300MB
- Java Runtime Environment 1.4.1 以上
- Java Access Bridge 1.0.3 (アクセシビリティ機能を使用する場合)
<http://www.sun.com/access/downloads/>
- GNOME 2.0 以上(Java アクセシビリティサポートを介した障害者支援技術のサポートが必要な場合)
- X サーバ、画面解像度 800x600、256 色以上
- Linux では、StarSuite を(V)FAT パーティションにインストールすることができません。これは、FAT ファイルシステムがシンボリックリンクの作成をサポートしないためです。

Solaris オペレーティングシステム

- Solaris 8 オペレーティングシステム以降(SPARC プラットフォーム版)
Solaris 9 OS を推奨。Solaris 8 OS の場合は、パッチ 108434-10、108773-17、109147-21、108435-10 (64 ビットのみ)が必要。
- メモリ 128MB、ハードディスク空き容量 300MB
- Java Runtime Environment 1.4.1 以上
- Java Access Bridge 1.0.3 (アクセシビリティ機能を使用する場合)
<http://www.sun.com/access/downloads/>
- GNOME 2.0 以上(Java アクセシビリティサポートを介した障害者支援技術のサポートが必要な場合)
- X サーバ、画面解像度 800x600、256 色以上